

避雷器本体内部素子の点検方法は動作開始電圧（素子に1mAを流したときの電圧）を測定して判断します。

●端子配列と結線図

本体部
ピン側の図

本体部 **ピン側よりの図**

図1

極性切替

チェッカーの動作について
 チェッカー CLA-2000は、1mA以下の電流制限つきです。
 1mAを超えた時点で、数値をホールドして素子への電圧印加を停止します。
 数値はTESTスイッチをOFFにするまで表示します。

●素子の良否判定方法

- ① チェッカーCLA-2000を図1のように接続します。
- ② 測定する素子（ZやD）の動作電圧に合わせてRANGE（レンジ）を切り換えてください。
- ③ TESTスイッチをONに投入してください。
- ④ 指示値が下表の範囲外の場合は、劣化と判定します。

<NRR-224-3 避雷器>

	各素子	測定端子	端子番号 ⊕ ⊖	印加電圧 (レンジ)	確認内容
※1	ZD回路正方向	L1-L2間	8-5	DC200V	DC42~52V 範囲内であること
	ZD回路逆方向	L2-L1間	5-8	DC200V	DC42~52V 範囲内であること
	M1	L1-E 間	12-14	DC2000V	DC350~850V 範囲内であること ※2
	M2	L2-E 間	9-14	DC2000V	DC350~850V 範囲内であること ※2

※1 接続を変えずに極性切替スイッチを逆方向にする。

※2 出荷時試験電圧範囲以外でも±10%程度は良好で、自復作用で復帰することもあり使用可能です。ただし、300V以下の場合は交換をお勧めします。

●注意事項

- ① 感電にご注意ください。
TESTスイッチONにしているとき、出力の電極を素手で触れないでください。
- ② 新品交換待ちの場合
劣化であっても信号に支障がなければ、新品交換まで付け戻してください。交換までの雷サージ対策となります。